

公益財団法人日本郵趣協会

2023年度事業報告（2023年4月1日～2024年3月31日）

【事業活動の総括】

公益財団法人日本郵趣協会は定款に則り、郵趣を通して郵便切手文化の向上発展に資するとともに未来に継承し、心豊かな潤いのある社会創造に寄与することを目的として活動を行った。この目的を達成するため、2023年度も、前年度同様に「郵趣の深耕」、「郵趣のダイバーシティ拡大」、「郵趣活動のバリアフリー化」を基本方針に掲げた。特に2023年度は、郵趣に興味をもつ方を増やす目的で、「郵趣のダイバーシティ拡大」に力を入れた。また、2023年度中の5月には、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の扱いが、2類相当から5類に変更され、対面での郵趣活動が活発化した。

「郵趣のダイバーシティ拡大」では、郵趣の幅を広げることで多くの方に郵趣を楽しんでいただくことを目的としている。世界切手まつりSTAMP-SHOWでは、開催テーマを「切手とともに、手紙を『贈ろう』」とし、手紙関連のグッズ販売や、その場で手紙を書けるテーブルを用意するなどし、手紙を書く楽しみを新たな郵趣と位置付け、その普及を目指した。結果として、多くの手紙ファンが集まり、新型コロナウイルス感染症の5類移行前であったにもかかわらず、前年の倍以上となる7,600名の参加者が集まり郵趣を楽しんでいただいた。また、全国切手展JAPEXでは、「関東大震災100年 関東大震災と郵便展」を企画出品とし、関東大震災という社会現象を切手や郵便により深掘りすることで、歴史や社会現象に興味を持つ方に郵趣という切り口を提案することを行い、新たな郵趣仲間を増やす試みを行った。JAPEXでの競争展では、関東大震災を社会現象として捉えたオープンクラス作品が出品され、国内競争展で初めてオープンクラス作品がグランプリを受賞した。今後の郵趣の新潮流の嚆矢となる展覧会となった。

「郵趣の深耕」では、研究会による専門分野研究の深耕、その成果の『郵趣研究』や『郵趣』などの雑誌や、STAMP-SHOW、JAPEX、ミニペックスといった展覧会での発表、そして各種文献でまとめるという一連の流れを2023年度も行った。特に、2021年度、2022年度に1冊ずつ発刊された『ビジュアル日専』について、2023年度は2冊を上梓することができ、これまでに4巻を揃えることができた。これらの『ビジュアル日専』はビジュアル化と和英併記という特徴を持ち、国際的にも高く評価され、2023年度は、国際切手展IBRA2023、同THAILAND2023、アジア国際切手展TAIPEI2023で、いずれも金賞を受賞した。

「郵趣活動のバリアフリー化」では、だれでもどこにいても郵趣を楽しめることを目指している。これを目指して、2021年に開始した「オンライン『郵趣』」は2023年度も継続し、毎回、海外や地方の郵趣家の方を含めて多くの方に楽しんでいただいた。また、地方本部による地方展覧会を10回開催し、2,120名もの方に楽しんでいただいた。

また、2023年度は、顕彰事業でも新たな動きがあった。紺綬褒章「公益団体」として内閣府に認定され、紺綬褒章授与の閣議決定をうけ、日本郵趣協会初の紺綬褒章をいただいた。また、4人目となる国際大賞を決定し、12年ぶりに受賞者を表彰した。

以上の事業を推進する「基盤力の強化」、「会員力の増強」「財政の安定」を実現させるため、春と秋の入会キャンペーンを行った。また、公益事業資金の造成として、パートナー・サポート企業・団体の募集、財政安定化寄附金、STAMP-SHOW2023寄附金、JAPEX2023寄附金の募集を行った。

I 公益目的事業

1. 普及啓発事業

万国郵便連合(UPU)加盟約190の国・地域から発行されている郵便切手類が持つ歴史、美しさ、芸術性といった文化的価値を広く社会一般に認識してもらうため、楽しみながら知ることのできる機会を創出した。また、郵便切手文化を次世代に継承するため、質の高い情報を積極的に提供するとともに幅広い分野で普及啓発活動や情報発信を実施した。

(1) 「全国ミニ切手展」キャンペーン

年間を通じて全国の郵便局、学校、博物館など公共施設を中心として、日本及び世界各国の郵便切手類を展示する「全国ミニ切手展」を282カ所(前年度277カ所)で開催した。特に4月の「切手趣味週間」(切手趣味週間の切手発行日から1週間)期間はキャンペーンを実施するとともに多局開催の個人・団体を表彰した。

(2) 展覧会来場者促進キャンペーン

キャンペーンの取り組みとして、特典情報を掲載したチケット等の作成・配布、集客文化イベントを実施するとともに、広く情報発信を図った。

①STAMP-SHOW 2023来場者促進キャンペーン

実施期間:2023年3月1日(水)～4月23日(日)

キャンペーンはがき:配布枚数270枚、回収枚数:51枚(回収率18.9%)

②JAPEX2023来場者促進キャンペーン

実施期間:2023年9月1日(金)～11月5日(日)

キャンペーンはがき:配布枚数250枚、回収枚数:45枚(同18%)

③STAMP-SHOW2024来場者促進キャンペーン

実施期間:2024年3月1日(金)～4月28日(日)、キャンペーンはがき:配布枚数210枚、回収枚数:43枚(同20.5%)

(3) 切手ワークショップ

①切手ワークショップ「入門コース・作品コース」

会場は切手の博物館(豊島区)とし、最終回の[4月度]はSTAMP-SHOW2024(台東区)で開催した。

[6月度] 内容:切手など郵趣品の話、開催日:6月17日(土)、参加者:7名

[9月度] 内容:切手など郵趣品の集め方と整理の仕方、開催日:9月16日(土)、参加者:6名

[11月度] 内容:マイリーフ作成ガイド、開催日:11月25日(土)、参加者:6名

[1月度] 内容:マイリーフ作成実習、開催日:2024年1月20日(土)、参加者:6名

[2月度] 内容:アルバムリーフ作成、開催日:2024年2月17日(土)、参加者:6名

[4月度] 内容:アルバムリーフの展示のみ実施、開催日:2024年4月27日(土)、参加者:6名

②児童向け切手ワークショップ

開催日:7月22日(木)、会場:世田谷区立給田小学校(世田谷区)、内容:切手しおり作り、切手うちわ作り、ふるさと切手ラリー、参加者200名。

(4) 郵趣入門ガイドブック

郵便切手類の入手・保存・楽しみ方についてわかりやすく解説した郵趣入門ガイドブックの2023年度改訂版及び新規版を制作してホームページに公開するとともに、全国規模の展覧会、地方本部主催の展覧会等において普及啓発活動を展開した。

(5) 切手卓上カレンダー

郵便切手類を身近に感じてもらうとともに郵便切手文化への理解と関心を高めるため、切手デザイナー

と連携を図り、生活に密着した切手卓上カレンダーの制作に協力した。

(6) 郵趣図書の普及促進

郵便切手類の歴史及び郵便制度の研究に必要な出版物を広く全国の公立図書館に配備・リクエストすることにより、教育と文化の発展に寄与した。

(7) WEB媒体とハイブリッド型の普及促進

情報公開の重要性に鑑み、切手発行情報、展覧会、出版物及び文化シンポジウム等に関する最新情報をホームページ及び公式SNSに適時掲載し、幅広く社会一般に公開、提供した。また、Web交流「オンライン郵趣」を毎月開催し、リアルとデジタルを連動させたハイブリッド型の普及促進を図った。

(8) 全国郵趣大会

全国各地における郵趣活動の結びつきを図り、課題の共有・活用の推進を図るため、全国郵趣大会を開催した。併せて功労者の顕彰、文化シンポジウム等を実施するとともに、記念レセプションを開催した。

①全国郵趣大会2023in札幌(第41回)&北海道郵趣大会2023in札幌(第27回)

会期:9月23日(土・祝)・24日(日)、会場:ホテルポールスター札幌(札幌市)、後援:日本郵便(株)北海道支社。参加者79名、内容:記念式典、顕彰事業セレモニー、記念講演、分科会、寄贈品オークション。企画運営:北海道・東北地方本部、札幌中央支部。

②全国郵趣大会2024in富山(第42回)[準備作業]

会期:9月28日(土)・29日(日)、会場:ホテルグランテラス富山(富山市)、後援:日本郵便(株)北陸支社[予定]、企画運営:中部地方本部、富山支部。

(9) 地方本部主催の「切手のつどい」

郵便切手文化に関する情報の発掘、収集を行うとともに、その結びつきを図り、地域市民の資源として共有・活用する基盤作りのため、誰でもが参加・交流できる「切手のつどい」を開催した。

①福山切手のつどい2023春

会期:4月29日(土・祝)、会場:まなびの館ローズコム[福山市生涯学習プラザ](広島県福山市)、参加者74名(同60名)、主催:中国・四国地方本部、福山支部

②岡山切手のつどい2023

会期:6月25日(日)、会場:岡山国際交流センター(岡山市)、参加者60名(同50名)、主催:中国・四国地方本部、岡山支部

③防府切手のつどい2023夏

会期:7月23日(日)、会場:デザインプラザHOFU(山口県防府市)、参加者53名(同60名)、主催:中国・四国地方本部、防府支部

④福山切手のつどい2023夏

会期:8月20日(日)、まなびの館ローズコム[福山市生涯学習プラザ](広島県福山市)、参加者52名(同50名)、主催:中国・四国地方本部、福山支部

⑤筑後地方切手のつどい2023

会期:8月27日(日)、会場:小都市生涯学習センター(福岡県小郡市)、参加者46名(同40名)、主催:九州・沖縄地方本部、小郡支部

⑥関西郵趣家のつどい2023・切手だいすき集まれ!

会期:12月2日(土)・3日(日)、会場:エディオンアリーナ大阪[大阪府立体育会館](大阪市)、参加者190名(同220名)、切手商ブース:5社5ブース(同8社8ブース)、主催:関西地方本部

⑦防府切手のつどい2024冬

会期:2024年1月28日(日)、会場:デザインプラザHOFU[山口・防府地域工芸・地場産業振興センター]

(山口県防府市)、参加者70名(同60名)、主催：中国・四国地方本部、防府支部

⑧北九州切手のつどい2024

会期：2024年2月11日(日)、会場：アジア太平洋インポートマート[AIM](福岡県北九州市)、参加者50名(同40名)、主催：九州・沖縄地方本部、北九州支部、後援：日本郵便(株)北九州中央郵便局

⑨広島切手のつどい2024

会期：2024年2月25日(日)、会場：ホテルチューリッヒ東方2001(広島市)、参加者80名(同80名)、主催：中国・四国地方本部、広島鯉城支部

2. 展覧会事業

郵便切手類及び郵便制度に関する研究を進展させるとともに、作品を鑑賞することにより豊かな情操を養い郵便切手文化に理解を深めるため、展覧会を開催した。また、文化シンポジウム・イベント等を企画・実施してPR効果を高め、集客の増加を図った。

(1) 全国規模の展覧会

①世界切手まつり STAMP-SHOW2023(第47回)

企画展示「世界の王室切手展」、「手紙を楽しもう展」、「日本の食文化 おいしい切手展」の開催、フリースタイル切手展2023、第24回トピカル切手展の作品を公募した。

開催テーマ：「切手とともに、手紙を『贈ろう』」、会期：4月21日(金)～4月23日(日)、会場：東京都立産業貿易センター台東館(台東区)、来場者：7,600名(前年度3,200名)。特別協賛：日本郵便(株)、協賛：(株)伊藤園、(株)伊東屋、えにし書房(株)、(株)鼓月、(一社)世界押花芸術協会、銚子電気鉄道(株)、(株)日本郵趣出版、(株)不二家、(株)ポパル、町田酒造(株)、(株)funbox、協力：切手の博物館、郵政博物館、日本郵便切手商協同組合、手紙社。競争出品：(1)フリースタイル切手展2023：29作品(同34作品)、(2)第24回トピカル切手展：18作品62フレーム(同24作品84フレーム)。切手商ブース：26店33.5ブース(同27店35ブース)。

②世界切手まつり STAMP-SHOW2024(第48回)[準備作業]

企画展示「令和6年能登半島地震復興支援切手展」、「パリ五輪2024『100年前のパリ』」、「宝塚110周年展」の準備作業、会期：2024年4月26日(金)～4月28日(日)、会場：東京都立産業貿易センター台東館(台東区)、後援：在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ、特別協賛：日本郵便(株)、協賛：(株)伊藤園、えにし書房(株)、(株)鼓月、(一社)世界押花芸術協会、(株)日本郵趣出版、町田酒造(株)、協力：フランス郵政(La Poste)、切手の博物館、郵政博物館、日本郵便切手商協同組合。

③第58回全国切手展(略称：JAPEX2023)

企画出品「関東大震災100年 関東大震災と郵便展」、「ウクライナ切手展」、「日本の郵便はがき誕生150年展」の開催、チャンピオン・クラス、伝統郵趣、郵便史、ステーションナリー、航空郵趣、テーマティック、ユース、文献、ワンフレーム、オープン、その他の全11クラスの競争作品を公募した。本展覧会において金銀賞以上の賞を受賞した作品には、国際郵趣連盟(FIP)主催の国際切手展への出品資格が付与された。併せて、公式ガイドブック等を発行して、研究発表の成果を広く一般に公開した。

開催テーマ：「穏やかな日々を郵趣とともに」、会期：11月3日(金・祝)～11月5日(日)、会場：東京都立産業貿易センター台東館(台東区)、入場者：3,400名(前年度3,200名)、後援：外務省、文部科学省、在日ウクライナ大使館、産経新聞社、東京新聞、協賛：日本郵便(株)、(株)伊藤園、(株)鼓月、(株)日本郵趣出版、町田酒造(株)、協力：ウクライナ郵政、(公財)通信文化協会、(一社)全日本郵趣連合、日本郵便切手商協同組合。

企画出品：「関東大震災100年 関東大震災と郵便展」23作品65フレーム、「ウクライナ切手展」9作品28

フレーム、「日本の郵便はがき誕生150年展」4作品32フレーム、競争出品:105作品333フレーム(前年度91作品258フレーム)。外国郵政ブース:3カ国(ウクライナ、スロベニア、フィンランド)、切手商ブース:21店27.5ブース(同25店32ブース)。

④第59回全国切手展(略称:JAPEX2024)[準備作業]

企画出品:「菊切手125年」、「2025年日韓国交正常化60周年 韓国切手展」の準備作業、会期:2024年11月1日(金)~11月3日(日・祝)、会場:東京都立産業貿易センター台東館(台東区)、後援:外務省、文部科学省、駐日本国大韓民国大使館、産経新聞社、東京新聞、協賛:日本郵便(株)他、協力:(公財)通信文化協会、(一社)全日本郵趣連合、日本郵便切手商協同組合[以上予定]

(2) 地方本部主催の展覧会

①STAMP-SHOW in横浜2023(第12回)

会期:5月13日(土)・14日(日)、会場:かながわ県民センター(横浜市)、来場者:311名(前年度368名)、主催:関東地方本部、横浜支部、後援:日本郵便(株)南関東支社、鶴屋町郵便局、神奈川新聞社。

②STAMP-SHOW in くだまつ2023

会期:6月17日(土)・18日(日)、会場:スターピアくだまつ[下松市文化健康センター](山口県下松市)、来場者:120名(同120名)、主催:中国・四国地方本部、周南支部。

③関西STAMP-SHOW2023(第36回)

会期:7月29日(土)・30日(日)、会場:大阪マーチャンダイズ・マートビル[OMM](大阪市)、来場者:380名(同430名)、企画テーマ:「旅の風景」、21作品40フレーム、切手商ブース:7店7ブース(同10店10ブース)、主催:関西地方本部。

④STAMP-SHOW in 広島2023(第40回)

会期:9月9日(土)・10日(日)、会場:広島県立産業会館(広島市)、来場者:408名(同370名)、企画展示:「英国王室関係の切手」、28作品68フレーム、切手商ブース:5店6ブース(同7店7ブース)、記念講演:「発行135年新小判切手の魅力」山田廉一氏、主催:中国・四国地方本部、STAMP-SHOW広島実行委員会。

⑤中部STAMP-SHOW in 三島2023(第22回)

会期:9月29日(土)・30日(土)、会場:三島商工会議所(三島市)、来場者:50名(同30名)、主催:中部地方本部、沼津支部。

⑥STAMP-SHOW in かごしま2023(第26回)

会期:9月30日(土)・10月1日(日)、会場:サンプラザ天文館(鹿児島市)、来場者:150名(同140名)、主催:九州・沖縄地方本部、鹿児島支部、後援:日本郵便(株)九州支社、南日本新聞社、NHK鹿児島放送局、MBC南日本放送、KTS鹿児島テレビ、KKB鹿児島放送、KYT鹿児島読売テレビ、エフエム鹿児島、鹿児島シティエフエム。

⑦STAMP-SHOW in 高松2023(第14回)

会期:9月30日(土)・10月1日(日)、会場:IKODE瓦町ギャラリー(高松市)、来場者:42名(同中止)、主催:中国・四国地方本部、高松支部。

⑧STAMP-SHOW in はかた2023(第36回)&全九州ジュニア切手展(第41回)

会期:10月21日(土)・22日(日)、会場:TKPカンファレンスシティ博多(福岡市)、来場者:170名(同200名)、特別展示:「富士鹿・風景切手」、切手商ブース:6店6ブース(同6店6ブース)、主催:九州・沖縄地方本部、福岡支部、後援:日本郵便(株)九州支社、福岡市教育委員会、RKB毎日放送、九州朝日放送、FBS福岡放送局、TVQ九州放送、テレビ西日本、読売新聞社、朝日新聞社、毎日新聞社、西日本新聞社。

⑨彩PEX2023(第23回)

会期：12月2日(土)・3日(日)、会場：ウエスタ川越(埼玉県川越市)、来場者：150名(同150名)、28作品
70フレーム、主催：関東地方本部、川越支部、後援：川越市教育委員会。

⑩大阪春の切手展2024(第11回)

会期：2024年3月9日(土)・10日(日)、会場：京セラドーム大阪(大阪市)、来場者：340名(同280名)、
企画テーマ：「伝統美術」、14作品22フレーム、切手商ブース：5店5ブース(同4店4ブース)、主催：関西
地方本部。

(3) 展覧会への出品促進

①フリースタイル切手展、トピカル切手展の応募ガイド・PDF入力フォームを作成し、出品希望者への
配布及びホームページにおいて公開した。

②「JAPEX2023ルールブック」(JAPEX2023開催概要、JAPEX2023特別規則、JAPEX一般規則、JAPEX
審査基準、JAPEX出品に関するQ&A等)を作成し、出品希望者への配布及びホームページにおいて公開した。

③新規出品者の育成及び出品コンサルティングの実施

対面及び通信添削により作品コンサルティングを実施した。JAPEX新規出品者：12名(前年度6名)、出品コン
サルティング利用者：8名(同8名)。

④クリティーク(審査員と出品者との対話)の実施

実施日：11月5日(日)、会場：第58回全国切手展JAPEX2023[東京都立産業貿易センター台東館(台東区)]、
参加者：21名(同17名)。

(4) 公認審査員制度と審査員の育成

コンクール形式の展覧会において適正な判定と円滑な運営を行うため、公認審査員制度を活用して国内
審査員の育成を図った。また、11月4日(土)に郵趣カンファレンス『国際切手展の楽しみ方』を開催し、国
際切手展の審査基準に適用した作品作りと出品戦略を解説した。

3. 出版事業

郵便切手類及び郵便制度に関する情報を社会一般に広く供するため、郵便切手類に関するデータ並びに
郵便制度に関する研究を基にして、各種出版物を発行した。

(1) 定期刊行物

①切手を楽しむ雑誌『郵趣(YUSHU)』月刊/12回発行

②週刊速報紙『郵趣ウィークリー』週刊/50回発行

③郵趣専門誌『郵趣研究(The Philatelic Studies)』隔月刊/6回発行

④WEB版『世界新切手ニュース』月刊/12回配信

⑤WEB版『郵趣ウィークリー』週刊/50回配信

⑥WEB版『郵趣研究』隔月刊/6回配信

(2) 切手カタログ

①『さくら日本切手カタログ2024』(4月20日刊行)

②『ビジュアル日専JSCA 1948-1965 産業図案・動植物国宝切手編』(5月1日刊行)

③『ビジュアル日専JSCA 1913-1937 田沢切手編』(12月25日刊行)

④『新中国切手カタログ2024』(12月25日刊行)

4. 学術調査研究事業

郵便切手類に関する研究成果を広く社会一般に還元するため、活動事例紹介、研究発表会<ミニペックス>、

郵趣カンファレンス、文化シンポジウム等を開催した。

(1) 研究会

①世界切手まつり STAMP-SHOW2023(第47回)

会期:4月21日(金)~4月23日(日)、切手の集い:4研究会、延べ参加者:28名。

②第58回全国切手展 JAPEX2023

会期:11月3日(金・祝)~11月5日(日)、切手の集い:6研究会、延べ参加者:60名。

(2) 研究発表会(ミニペックス)

研究会による学術調査研究成果の発表会を「ミニペックス」と称して、切手の博物館(豊島区)において広く一般に公開した。

①イギリス切手研究会切手展2023

会期:5月27日(土)・28日(日)、来場者:150名(前年度150名)、研究発表:イギリス切手研究会

②フェアブル生誕200年記念 第36回昆虫切手展

会期:6月3日(土)~6月4日(日)、来場者:170名(同170名)、研究発表:昆虫切手研究会

③第12回世界の植物切手展

会期:6月9日(金)~6月11日(日)、来場者:250名(同260名)、研究発表:植物切手研究会

④アメリカ切手展2023 america'23

会期:6月30日(金)~7月2日(日)、来場者:100名(同120名)、研究発表:アメリカ郵趣研究会

⑤第20回震災切手と震災郵趣展

会期:9月1日(金)~9月3日(日)、来場者:160名(同110名)、研究発表:震災郵趣研究会

⑥JPS航空郵趣研究会 AEROPEX2023 空へのあこがれ

会期:9月23日(土・祝)・24日(日)、来場者:300名(前年度310名)、研究発表:航空郵趣研究会

⑦第20回絵画切手展

会期:9月30日(土)・10月1日(日)、来場者:200名(同210名)、研究発表:絵画切手研究会

⑧世界の音楽切手展

会期:10月28日(土)・29日(日)、来場者:200名(同230名)、研究発表:音楽切手研究会

⑨第21回ドイツ切手展 Germania2024

会期:2024年1月19日(金)~1月21日(日)、来場者:210名(同210名)、研究発表:ドイツ切手研究会

⑩第8回関東郵趣サロン 楽しい切手展

会期:2024年1月26日(金)~1月28日(日)、来場者:190名(同200名)、研究発表:関東郵趣サロン研究会

⑪第15回テーマティック研究会切手展

会期:2024年3月2日(土)・3日(日)、来場者:190名(同180名)、研究発表:テーマティック研究会

⑫パソコン郵趣切手展2024

会期:2024年3月9日(土)・10日(日)、来場者:200名(同150名)、研究発表:パソコン郵趣研究会

⑬第16回聴覚障害者切手研究会切手展

会期:2024年3月16日(土)・17日(日)、来場者:180名(同140名)、研究発表:聴覚障害者切手研究会

⑭菊・田沢MINIPEX2024

会期:2024年3月29日(金)~3月31日(日)、来場者:160名(同140名)、研究発表:菊・田沢切手研究会

(3) 研究公開

郵便切手文化に関する研究事例、実践事例等の専門的知識・知見を幅広く共有するため、各専門研究会会報にとどまらず全国専門誌、ホームページ等において公開発表した。

①ホームページにおける研究公開「私の切手アルバム」

②『郵趣研究』における研究公開

③研究会会報及び研究会ホームページにおける研究公開

(4) 郵趣カンファレンス

各専門分野の先進学術事例の調査研究を進めるとともに、この知見を相互に有効活用するため郵趣カンファレンスを開催し、その学術事例を出版物等を活用して発表・公開した。

①昆虫切手ミニペックス作品解説

会期：6月4日(日)、スピーカー:澤口尚子氏、田中克美氏(昆虫切手研究会)、聴講者20名、会場:切手の博物館(豊島区)。

②アメリカ切手ミニペックス作品解説

会期：7月1日(土)、スピーカー:小林伸佳氏(アメリカ郵趣研究会)、聴講者8名、会場:切手の博物館(豊島区)。

③画像検索・表示ソフト“Crotos”の活用、出品解説

会期：10月1日(日)、スピーカー:江村清氏(絵画切手研究会)、聴講者5名、会場:切手の博物館(豊島区)。

④札幌農学校～北海道大学の145年史 出品解説

会期：10月8日(日)、スピーカー:犬飼英明氏(北大郵趣会)、聴講者5名、会場:切手の博物館(豊島区)。

⑤国際切手展の楽しみ方

会期：11月4日(日)、スピーカー:斎藤環氏(公認審査員)、聴講者10名、会場:東京都立産業貿易センター台東館(台東区)。

⑥ドイツインフレ1922-23

会期：2024年1月20日(日)、スピーカー:伊藤文久氏(ドイツ切手研究会)、聴講者6名、会場:切手の博物館(豊島区)。

⑦オスマン帝国と切手・郵便

会期：2024年3月3日(日)、スピーカー:内藤陽介氏(テーマティック研究会)、聴講者27名、会場:切手の博物館(豊島区)。

⑧1次富士箱根国立公園切手

会期：2024年3月30日(土)、スピーカー:池田駿介氏(菊・田沢切手研究会)、聴講者20名、会場:切手の博物館(豊島区)。

(5) 文化シンポジウム

講演会、パネルディスカッション、トークショー等の形式により文化シンポジウムを開催し、知見の交換を図るとともに多くの人に参加できる機会を創出した。

①会期：4月21日(金)～4月23日(日)、会場：STAMP-SHOW2023／東京都立産業貿易センター台東館(台東区)。

A. 研究発表「青春真っ只中!『関東郵趣サロン研究会』」、講師:荒木寛隆氏(関東郵趣サロン研究会)、聴講者30名。

B. 講演会「世界の王室切手展ードイツ、オーストリアの王室」、講師:加藤久勝氏、寺田昌弘氏、聴講者20名。

C. 講演会「現代日中関係史 第2部1972-2022」、講師:内藤陽介氏、聴講者45名。

D. トークショー「切手でめぐる”おいしいにっぽん”～切手デザイナー×フードライター取材旅～」、ゲスト:吉川亜有美氏(日本郵便(株)切手デザイナー)、藤森陽子氏(ライター)、聴講者35名。

E. 講演会「切手で読み解く地図の世界～トピカルコレクション制作講座～」、講師:虎頭雄彦氏、西海隆夫氏、聴講者25名。

F. 講演会「風景印・小型印の実現への道～提案からデザインまで～」、講師:中嶋弘美氏、嘉藤雅子氏、聴講者65名。

②会期:9月9日(日)、会場:STAMP-SHOW2023/県立広島産業会館(広島市)。

A. 講演会「発行135年新小判切手の魅力」、講師:山田廉一氏(菊・田沢切手研究会)、聴講者32名。

③会期:9月23日(土・祝)、会場:全国郵趣大会2023in札幌&北海道郵趣大会2023in札幌/ホテルポールスター札幌(札幌市)。

A. 講演会「手彫切手の楽しさ」、講師:瀧川忠氏、聴講者50名。

B. 講演会「モーリシャス切手物語」、講師:山崎英氣氏、聴講者50名。

④会期:11月3日(金・祝)～11月5日(日)、会場:第58回全国切手展JAPEX2023/東京都立産業貿易センター台東館(台東区)。

A. 研究発表「関東大震災100年、震災郵趣と震災切手の楽しみ方」、講師:鎌倉達敏氏(震災郵趣研究会)、聴講者50名。

B. 講演会「郵趣活動を振り返って」、講師:江村清氏、聴講者25名。

C. 講演会「ジャポニカ切手を楽しむ」、講師:和田進氏、聴講者35名。

D. 講演会「郵政博物館展示資料の解説と震災切手意匠考察」、講師:菊池牧子氏(郵政博物館学芸員)、聴講者25名。

E. 講演会「ウクライナと切手・郵便」、講師:内藤陽介氏、聴講者40名。

F. 講演会「エリザベス女王 切手に最も愛された96年の軌跡」、講師:山田廉一氏、聴講者40名。

G. トークショー「浮世絵切手のQ&A」、ゲスト:玉木明氏(日本郵便(株)切手デザイナー)、田沢裕賀氏(大分県立美術館長)、聴講者55名。

⑤会期:12月9日(土)、会場:切手の博物館のクリスマス/切手の博物館(豊島区)。

A. トークショー「冬のグリーティング切手」、ゲスト:吉川亜有美氏(日本郵便(株)切手デザイナー)、聴講者30名。

B. トークショー「絵葉書と切手で知るクリスマスの世界」、ゲスト:木村正裕氏、聴講者30名。

(6) 展覧会助成

郵便切手文化に関する学術研究において、社会的要請及び将来の発展が期待できる研究課題の発表・公開に対して展覧会助成を実施した。[会場はいずれも切手の博物館]

①魚木式郵趣展

会期:4月28日(金)～4月30日(日)、来場者110名(前年度130名)、主催:魚木五夫氏。

②草加郵趣会55周年記念切手展

会期:7月15日(土)・16日(日)、来場者210名、主催:草加郵趣会。

③北大郵趣会創立50周年記念切手展

会期:10月7日(土)・8日(日)、来場者130名、主催:北大郵趣会。

5. 国際文化交流事業

日本と海外諸国・地域との文化活動の交流を図り、友好関係と相互理解を増進するため、自国の歴史・文化を伝える「小さな外交官」と形容される郵便切手類を通して、国際文化交流を推進した。

(1) 国際切手展における国際文化交流

国際切手展の視察、国際郵趣セミナー等の参加を通じて、海外諸国・地域の郵趣家とのネットワークの形成・強化を図るとともに、国際文化交流を契機とした新たな郵便切手文化の研究を推進した。

①アジア国際切手展「NZ2023」の視察、研究発表

会期：5月4日(木)～5月7日(日)、会場：エラズリーイベントセンター(ニュージーランド・オークランド)

②国際切手展「IBRA2023」への文献出品、視察、研究発表

「ビジュアル日専Vol.1」を出品し金賞を受賞した。会期：5月25日(木)～5月28日(日)、会場：メッセ・エッセン(ドイツ・エッセン)

③アジア国際切手展「TAIPEI2023」への文献出品

「ビジュアル日専Vol.1～Vol.2」を出品し金賞を受賞した。会期：8月11日(金)～8月15日(火)、会場：世界貿易センター(台湾・台北)

④国際切手展「THAILAND2023」への文献出品、視察、研究発表

「ビジュアル日専Vol.1～Vol.3」を出品し金賞を受賞した。会期：11月27日(木)～12月2日(土)、会場：グラントポスタルビル(タイ・バンコク)

(2) 各国外交機関及び各国郵政機関との協働による国際文化交流

日本の郵政機関と協働してブース出展を行うとともに、海外郵政機関の協力を得て質の高い国際文化交流の活性化に努めた。

①国際切手展「THAILAND2023」へのブース出展

<JAPAN POST>(日本郵便)ブースの出展・運営を行い、郵便切手類の展示・紹介、新切手リーフレットの無償配布及び記念押印サービスを実施した。会期：11月27日(木)～12月2日(土)、会場：グラントポスタルビル(タイ・バンコク)

(3) 海外義援金活動

ウクライナにおいて緊急支援を必要としている人々を支援するため、在日ウクライナ大使館と連携し、第58回全国切手展JAPEX2023においてウクライナ郵政の在日郵趣代理部を開設し、ウクライナ切手の販売に寄与した。

6. 流通促進事業

文化的及び歴史的資料として貴重な国民的財産である郵便切手類を拡散・劣化させることなく、次世代へ着実に継承するため、流通促進事業を実施した。

(1) 流通促進の基盤整備

郵便切手類の偽造品・変造品の不正流通を防止するため、情報の蓄積・注意喚起を進めた。また郵便切手文化の保全と健全なる市場の形成を図り、広く利用者の便宜性と拡大に努めた。

(2) 展示即売会、公開入札制度

郵便切手類の需要開拓と安定供給を図る展示即売会を通して、多様な市民が公平に郵便切手類を再活用できる基盤と公共的インフラを支援した。

①4月21日(金)～4月23日(日)、会場：東京都立産業貿易センター台東館(台東区)

②7月8日(土)、会場：切手の博物館(豊島区)

③11月3日(金・祝)～11月5日(日)、会場：東京都立産業貿易センター台東館(台東区)

④2024年2月24日(土)、会場：切手の博物館(豊島区)

7. 顕彰事業

日本及び世界各国の郵便切手類及び郵便制度に関して、その普及啓発並びに調査研究に貢献した功労者(個人及び団体)を顕彰し、郵便切手文化の振興と水準高度化を図った。また、紺綬褒章「公益団体」として顕彰者の申請を行ない、授与が決定された。

(1) 選考委員会

各授賞要項に基づき各選考委員会を設置するとともに、選考基準に基づき授賞者を選考した。

①第44回中島健蔵・水原明窗記念賞

中島健蔵・水原明窗記念賞選考委員会(委員長:山田廉一)を設置し、4月22日(土)に選考委員会を開催、受賞者に江村清氏を決定した。

②国際大賞(トレーシー・ウッドワード記念賞)

顕彰選考委員会(委員長:山田廉一)を設置し、6月3日(土)に選考委員会を開催、Ron Cacey氏に決定した。

③第43回郵趣活動賞(個人部門、団体部門)

同上の選考委員会を設置し、次の通り決定した。

A. 個人部門:斎享氏、柴田公子氏、豊田謙氏、長野行洋氏の4名

B. 団体部門:関東郵趣サロン研究会、震災郵趣研究会

④第43回郵趣文献賞

同上の選考委員会を設置し、受賞文献に次の文献を決定した。

「昭和記念切手図録」(星名定雄著)

⑤第40回小倉謙賞

選考委員会(委員長:石川勝己)を設置し、11月3日(金・祝)に選考委員会を開催し、受賞者に佐々木耕氏「氷海を征く船—英雄時代の極地探検船から近代の砕氷船まで」を決定した。

⑥第38回住野正顕賞

選考委員会(委員長:石川勝己)を設置し、11月3日(金・祝)に選考委員会を開催し、受賞者に岩崎善太氏「大韓帝国1884-1905」を決定した。

⑦第3回手嶋康賞

選考委員会(委員長:石川勝己)を設置し、11月3日(金・祝)に選考委員会を開催し、受賞者に黒田卓氏「手彫切手1871-1876」を決定した。

⑧登録支部・団体50周年特別表彰

5月27日(土)に事業執行会議(議長:山田廉一)を開催し、2023年度の表彰に横浜支部、但馬支部、布施支部の3団体を決定した。

⑨紺綬褒章

紺綬褒章「公益団体」として内閣府に対して紺綬褒章授与の申請を行い、授与の閣議決定を得た。

(2) 授賞式

表彰は授賞式をもって行うとともに、選考結果は『郵趣』及びホームページにおいて公開した。

①第44回中島健蔵・水原明窗記念賞は、第58回全国切手展JAPEX2023において受賞者を発表するとともに、授賞式を公開で実施した。あわせて受賞記念講演を実施した。

②第43回郵趣活動賞(個人部門、団体部門)及び第43回郵趣文献賞は、全国郵趣大会2023in札幌&北海道郵趣大会2023in札幌において受賞者を発表するとともに、授賞式を公開で実施した。

③第40回小倉謙賞、第38回住野正顕賞並びに第3回手嶋康賞は、第58回全国切手展JAPEX2023において受賞者を発表するとともに、授賞式を公開で実施した。

④紺綬褒章は、第58回全国切手展JAPEX2023において受章者を発表するとともに、授章式を公開で実施した。

8. 社会貢献・地域支援事業

パートナー・サポート企業・団体との協働により広く社会一般に貢献する事業を行った。また、登録支部・団体及び公益的活動への支援を行い、ボランティアの醸成と創造性豊かな人材育成に取り組んだ。

(1) 「手紙を書こう!プロジェクト2023」

①ゆうびんde自由研究・作品コンテスト2023(第12回)

発表会：8月18日(金)～8月20日(日)、会場：目白・椿ホール(豊島区)、来場者1,000名。後援：文部科学省、(公社)日本PTA全国協議会、全国市町村教育委員会連合会、全国連合小学校長会、日本私立小学校連合会、豊島区教育委員会、産経新聞社、日本教育新聞社、特別協賛：日本郵便(株)、協賛：(株)デザート、ピツニーボウズジャパン(株)、リソー教育グループ。応募作品：切手部門：24作品(2022年度25作品)、風景印部門：456作品(同259作品)、優れた作品に文部科学大臣賞及び特別賞(7協賛企業・団体)を授与した。

※NIKKYO教育支援プラットフォーム参画

②タイムカプセル郵便

募集期間：4月1日(土)～2024年3月31日(日)[通年]、引受通数：25,698通(前年度25,149通)、協賛：日本郵便(株)、リソー教育グループ。

※日本郵政(株)の商標登録使用許諾事業

③Otegamiフリマ

A. Otegamiフリマ2023 SUMMERコレクション 会期：5月19日(金)・20日(土)、来場者800名。

B. Otegamiフリマ2023 AUTUMNコレクション 会期：8月18日(金)・19日(土)、来場者1,000名。

C. Otegamiフリマ2023 WINTERコレクション 会期：11月24日(金)・25日(土)、来場者800名。

D. Otegamiフリマ2024 SPRINGコレクション 会期：2024年2月16日(金)・17日(土)、来場者800名。

会場：A.C.D.は切手の博物館(豊島区)、B.は目白・椿ホール(豊島区)、共催：(一財)水原フィラテリー財団、協賛：日本郵便(株)、リソー教育グループ。

④手紙ワークショップ

A. お手紙イベント「母の日」

会期：4月21日(金)～23日(日)、会場：東京都立産業貿易センター台東館(台東区)

会期：5月6日(土)、会場：切手の博物館(豊島区)、共催：(一財)水原フィラテリー財団。

B. ぼすくまにおたよりを送ろう!

会期：8月18日(金)～20日(土)、会場：目白・椿ホール(豊島区)

C. クリスマスポストカードdeお手紙

会期：12月2日(土)～12月24日(日)、会場：切手の博物館(豊島区)、参加者1,000名。共催：(一財)水原フィラテリー財団、協賛：日本郵便(株)、リソー教育グループ。

(2) 登録支部・団体制度と地域文化活動の支援

①地域における郵便切手文化に関する研究発表、作品解説への講師派遣

地方本部及び登録支部・団体が主催するイベントに、講師の派遣を実施した。

②地域が取り組む展覧会及び切手教室への助成

登録支部・団体が開催した展覧会への助成を実施した。

③郵便切手文化活動への広報協力

『郵趣(YUSHU)』及び協会ホームページにおいて、地域が取り組む郵便切手文化活動の広報に努めた。

④地域文化活動の活性化及び企画プログラムの提供

地方本部及び登録支部が主催するイベントに、企画展示の作品斡旋、紹介等を実施した。

(3) パートナー企業・団体との協働プロジェクト

①日本郵便(株)との手紙振興プロジェクト

A. 手紙の書き方体験授業との連携

B. 『Letter Park』への情報掲載(毎月)

4月号、5月号、7月号、8月号、10月号、12月号、1月号には特別枠でも周知

②切手デザイナーとの連携・協力

A. 切手デザイナートーク&サイン会

(a) テーマ:「切手でめぐる”おいしい”にっぽん」、ゲスト:吉川亜有美氏(切手デザイナー)、会期:4月22日(日)、会場:東京都立産業貿易センター台東館(台東区)。

(b) テーマ:「浮世絵切手のQ&A」、ゲスト:玉木明氏(切手デザイナー)、会期:11月5日(土)、会場:東京都立産業貿易センター台東館(台東区)。

(c) テーマ:「冬のグリーティング切手」、ゲスト:吉川亜有美氏(切手デザイナー)、会期:12月9日(土)、会場:切手の博物館(豊島区)。

B. 記念小型印及び各種制作物のデザイン制作

(a) 記念小型印「母の日のおたより」のデザイン

使用期間:5月6日(土)、開設場所:切手の博物館(豊島区)

(b) 記念小型印(3種)「STAMP-SHOW2023」のデザイン、ポストカード、封筒、スタンプラリー(6種)のデザイン制作

(c) 記念小型印(3種)「切手の博物館のクリスマス」のデザイン、クリスマス・ポストカードのデザイン制作

使用期間:12月6日(水)、12月20日(水)、12月24日(日)、開設場所:切手の博物館(豊島区)

(d) 卓上切手カレンダー

C. 展覧会の各賞選考

(a) フリースタイル切手展2023選考委員

選考委員として玉木明氏(切手デザイナー)を招請、選考日:2023年3月22日(水)、選考会場:切手の博物館(豊島区)。

(b) ゆうびんde自由研究・作品コンテスト2023審査員

審査員として楠田祐士氏(切手デザイナー)を招請、審査日:8月10日(木)、審査会場:切手の博物館(豊島区)

D. 年賀はがき面白情報

年賀はがき、年賀状の差出に関心をもってもらうため、2024年用年賀はがきに関する面白情報の提供を受け、JAPEX2023(台東区)及び切手の博物館(豊島区)において展示・公開した。

③(公財)通信文化協会との連携・協力

A. 企画出品のコラボ企画

企画展示:「関東大震災100年 関東大震災と郵便」に関する各種資料、会期:11月3日(金・祝)~11月5日(日)、会場:第58回全国切手展JAPEX2023/東京都立産業貿易センター台東館(台東区)。

B. 講演会のコラボ企画

講演会:「郵政博物館展示資料の解説と震災切手意匠考察」、講師:菊池牧子氏(郵政博物館学芸員)、会期:11月4日(土)、会場:第58回全国切手展[東京都立産業貿易センター台東館(台東区)]。

C. フリースタイル切手展2023選考委員

選考委員として田仲明子氏(郵政博物館学芸員)を招請、選考日:2023年3月22日(水)、選考会場:切手の博物館(豊島区)。

D. 第5回全国切手展(スタンペックスジャパン2024)を後援し、審査員1名を派遣した。会期:2024年3月30日(金)~4月1日(日)、会場:郵政博物館(墨田区)]。

(4) ボランティアの醸成

①郵趣のための押印講習会(技能認定制度)

押印講習会を9回開催するとともに、押印に関する専門的な知識を技術が優秀と認められた方への「押印認定書」(1級～3級)の授与を新たに4名決定した。押印ボランティア登録者:26名、押印認定者:累計39名。

②展覧会運営ボランティアの公募

A. 4月21日(金)～23日(日)開催の世界切手まつりSTAMP-SHOW2023に一般ボランティア18名の応募があり、延べ30名が運営ボランティアとして参加した。

B. 11月3日(金・祝)～11月5日(日)開催の第58回全国切手展JAPEX2023に一般ボランティア12名の応募があり、延べ19名が運営ボランティアとして参加した。

(5) 公益活動への支援

①切手バザール

(一財)水原フィラテリー財団主催の「切手バザール」の開催を支援した。会期:5月13日(土)・14日(日)、6月17日(土)・18日(日)、7月8日(土)・9日(日)、10月21日(土)・22日(日)、2024年1月13日(土)・14日(日)、2024年2月24日(土)・25日(日)、2024年3月23日(土)・24日(日)、延べ7回、会場:いずれも切手の博物館(豊島区)。

②全日本切手展2023(第73回)

全日本切手展実行委員会主催の「全日本切手展2023」に後援、特別賞を授与した。会期:7月15日(土)～7月17日(月・祝)、会場:すみだ産業会館(墨田区)。

③切手の博物館のクリスマス

(一財)水原フィラテリー財団と共催して、「切手の博物館のクリスマス」を開催した。会期:12月2日(土)～12月24日(日)、会場:切手の博物館(豊島区)。

④第27回目白ロードレース

目白ロードレース実行委員会主催の「第27回目白ロードレース」に協賛した。会期:2024年3月10日(日)、会場:学習院キャンパス周辺。

9. 公益事業資金の造成

郵便切手文化の向上発展に資するとともに未来に継承する公益事業資金造成のため、幅広く多くの方々から寄付を募った。益金は広く社会一般に還元する事業のために充当した。

(1) パートナー・サポート企業・団体の募集

世界切手まつりSTAMP-SHOW2023に対して16企業・団体(2022年度16企業・団体)、第58回全国切手展JAPEX2023に対して9企業・団体(同10企業・団体)から協賛、協力の支援を得た。

(2) 使用済み切手、書き損じはがきの募集

募集期間:2023年4月1日(土)～2024年3月31日(日)、協賛件数:1,912件(同2,762件)。

(3) 財政安定化寄附金(一般寄附金)

募集期間:2023年4月1日(土)～2024年3月31日(日)、協賛者:9名、70,900円(同9名、10,110,000円)。

(4) STAMP-SHOW2023寄附金(特別寄附金)

募集期間:1月4日(水)～5月31日(水)、特別寄附金:27口(1口3万円)、一般寄附金:339口(1口4,000円)、協賛者:293名、2,170千円(同300名、2,041千円)。

(5) JAPEX2023寄附金(特別寄附金)

募集期間:7月1日(土)～11月5日(日)、特別寄附金:35口(1口3万円)、一般寄附金:443口(1口4,000円)、協賛者:387名、2,825千円(同394名、3,179千円)。

(6) 特別寄附金の表彰制度(特別表彰、マルチプル表彰、メジャードナー表彰)

STAMP-SHOW及びJAPEXの各寄附金において「特別寄附金」に多額の支援をいただいた方に対して、

「世界切手まつり STAMP-SHOW2023」で特別表彰2名、マルチプル表彰1名、「第58回全国切手展 JAPEX2023」で特別表彰1名、マルチプル表彰2名、メジャードナー1名を表彰した。

Ⅱ 管理部門

1. 会員事業

(1) 会員の維持・拡大

①春の入会キャンペーン&WEB会員入会キャンペーン

実施期間:4月1日(土)~6月30日(金)、入会者:12名(うちSTAMP-SHOW2023会場7名)。

②秋の入会キャンペーン&WEB会員入会キャンペーン

実施期間:10月3日(火)~12月23日(土)、入会者:9名(うちJAPEX2023会場1名)。

③秋の口座振替登録キャンペーン

実施期間:10月3日(火)~12月23日(土)、登録者:7名(前年36名)。

④『正会員会報』月刊/12回発行

(2) 定期刊行物の維持・拡大

①『郵趣ウィークリー』購読者拡大キャンペーン

実施期間:11月25日(土)~12月23日(土)、新規購読者:紙版4名、WEB版4名(前年5名)。

(3) 会員情報管理システムの整備

2. 交流事業

(1) 新春交歓会

①東京・新春交歓会2024

会期:2024年1月6日(土)、会場:アンジェロコート東京(豊島区)、参加者40名(2022年度61名)。

②大阪・新春交歓会2024

会期:2024年1月8日(月・祝)、会場:大阪キャッスルホテル(大阪市)、参加者30名(同26名)。

(2) 地方本部主催の郵趣大会

①東北郵趣大会2023in山形(第30回)

会期:6月3日(土)・4日(日)、会場:ヒルズサンピア山形(山形市)、参加者26名(前年度中止)、主催:北海道・東北地方本部。

②関東郵趣大会2023in三鷹(第31回)

会期:6月17日(土)、会場:三鷹産業プラザ(三鷹市)、参加者61名(同96名)、主催:関東地方本部。

③北海道郵趣大会2023in札幌(第37回)

会期:9月24日(日)、会場:ホテルポールスター札幌(札幌市)、参加者46名(同中止)、主催:北海道・東北地方本部。

(3) コミュニティ通貨「フィラ」

お金では表せない「善意」を交換するコミュニティ通貨「フィラ」の普及拡大と流通促進により、ボランティア活動の活性化を図るとともに、郵便切手文化サービスの循環によって生き生きとした心豊かな社会の実現を目指した。発行数:38,073枚、流通数:705枚(流通率1.9%)。

2023年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

2024年6月

公益財団法人 日本郵趣協会